

事業番号	007
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	広報等作成事業				担当部	市長公室				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	秘書広報課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	広報係			
	総合計画 分野別計画	主目的	7 行政経営		31 行政運営		1 情報の共有化を推進します				
		副目的	18-1								
	予算区分	款	2	項	1	目	2	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市広報発行規則									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	小牧市の各種施策や計画についての説明や行事等の情報を提供し、行政に対する理解と協力を得る。									
	内容 (手段)	<p>■平成25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報こまき、暮らしのカレンダー、転入者向けの市政案内として市政ガイドなどを作成し、市政情報の提供を行った。 ・市政、各種事業、サービスなどの情報をいち早く的確に提供するため、毎月2回(1日と15日)広報こまきを発行した。 ・市民活動団体に広報こまきの一部(市民活動団体の紹介及び市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進めた。 ・新規事業として、7月15日号広報こまきより、市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による紙面の掲載を開始し、より市民に身近な広報紙となるよう努めた。 ・刊行物の発行にあたり、取材・編集・校正・チェックおよび関係各課との調整を実施した。 ・11/1号広報において、読者アンケート調査を実施し、市民のニーズの把握に努めた。 <p>【直接経費の内訳】 広報こまき(印刷費:78,270千円)【毎月2回発行 平均発行部数(H25実績)56,100部】 暮らしのカレンダーガイド(印刷費:4,095千円)【年1回12月に配布 発行部数57,000部(H25実績)】 市政ガイド(印刷費:1,995千円)【転入者に配布 発行部数5,000部(H25実績)】 広報紙市民協働作成委託(委託料:3,557千円)【広報こまきの作成の一部を市民活動団体に委託】 その他使用料等 6,044千円</p> <p>■平成26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広報こまき、暮らしのカレンダーなどを作成し、市政情報の提供を行う。 ・協働提案事業化制度を活用した「市民レポーター」の充実を図り、市民の柔軟な発想による記事を広報に掲載することにより、市民とともにつくる、より身近な広報を目指す。 ・平成27年の市制施行60周年に向け、これまでの市政のあゆみなどを記録した記念要覧およびDVDを作成する。 <p>【直接経費の内訳】 印刷製本費 89,600千円(広報こまき、暮らしのカレンダー、市制60周年記念要覧等) 委託料 7,019千円(広報紙市民協働作成、市民レポーター制度実施等) その他使用料等 2,410千円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	82,802	86,938	93,961	99,029	
		正職員	従事者数	人	1.55	2.00	2.15	2.10
			人件費	千円	8,153	10,520	11,309	11,046
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	90,955	97,458	105,270	110,075	
	対前年比	%		107.1	108.0	104.5		
財源	一般財源	千円	90,955	97,458	105,270	110,075		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	広報こまき	千部	目標	—	—	—
実績				1,383	1,339	1,347	
暮らしのカレンダー		部	目標	—	—	—	—
			実績	56,000	56,000	57,000	
市政ガイド		部	目標	—	—	—	—
			実績	0	5,000	5,000	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
広報こまき	千部	目標	—	—	—	—	
		実績	1,383	1,339	1,347		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の事業結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民自らが取材・編集に携わり、広報作成を行う「市民レポーター制度」を市民活動団体との協働により実施し、「市民も伝える広報」への変革に向けて着手した。 11月1日号広報で読者アンケートを実施し、その結果を受けて「小牧市の人口の前月比」、「平成26年度から綴じ穴を廃止」、「内容の整理」などの改善を行った。 	
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> 以前に比べ、広報こまきのページ数が増加傾向にある。ページ数が嵩むことにより、費用も嵩む。また、ページ数があまり多すぎると、情報の得やすさ・読みやすさが低下し、読者離れも懸念される。 これまでの広報は行政からの一方的な情報発信が大半を占めていたが、今後、協働によるまちづくりを推進していくにあたり、市民がまちづくりの主役になる機会も増えることから、「市民に伝える広報」から、「市民も伝える広報」への変革が必要となると思われる。 	
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民に市政情報を提供する場が、縮小・廃止となると、必要な人に情報提供ができなくなり、市民も市政情報を知る機会を失うことになるため、市民と行政が情報共有を行うことに多大な影響を及ぼすこととなる。	
	善内容	平成26年度の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度から実施している広報読者アンケートを継続実施するとともに、アンケート内容を精査し、調査結果を基に各コーナーの取捨選択につなげる。 2年目を迎えた「市民レポーター制度」の充実を図り、市民自らが取材・編集に携わる仕組みを拡充することにより、広報こまき発行を通じた協働によるまちづくりを推し進める。 小牧市の魅力や特性を盛り込んだ市制施行60周年記念要覧を発行し、市民の小牧市に対する愛着や誇りを高める。 	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	市民が市政情報を得ることは、パブリックリレーションズの本旨である「市民と行政の良好な関係の構築」のために必要不可欠であり、事業の現状維持は必須である。なお、事業内容の充実や対象・手段の見直しは必要に応じて行っていく。		
	27年度以降の改善案	平成25年度に地域ブランド戦略が策定されたことから、今後は市政情報の発信のみならず、ブランド戦略にのっとり、ブランドイメージの定着を図る発信や魅力・特性を伝える発信など、市民の小牧市に対する誇りや愛着を高めるようなプロモーションを行う。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。